

KADENZA

KADENZA カデンツァ VOL.90 | 2026 OCT-DEC

ISHIKAWA ONGAKUDO / ORCHESTRA ENSEMBLE KANAZAWA CONCERT GUIDE



音楽堂開館25周年
インタビュー 黒木雪音

「森のうた」聴きどころ

文：寺西 肇（音楽ジャーナリスト）

若き日の挑戦、《森のうた》との出会い

かつて若き音楽学生たちが紡いだ、瑞々しい響きのこだまが、きくと聞こえて来るだろう。今年、石川県立音楽堂の開館から25周年にして、OEK初代音楽監督の岩城宏之の没後20年。これを記念し、岩城の指揮人生の「原点」ともなったシヨスタコーヴィチのオラトリオ《森のうた》を、やはり岩城から強い影響を受け、今や国際的に活躍する気鋭のマエストロ・山田和樹の指揮で上演する。演出と語り、は、県立音楽堂芸術監督の野村萬齋が担当。節目の年を迎えた堂内に、喜びの調べが満ちる。

1951年、東京藝大の学生だった岩城は、後に作曲家・指揮者として活躍することとなる一級下の山本直純と共に、ただ「棒が振りたい」との一念のもと、学生オーケストラを組織し、様々なトラブルを乗り越えて、遂には願いを実現。



在りし日の岩城宏之(左)と山本直純(右)
《宿命》では野村萬齋が山本の亡霊となって現れる

この時に取り組んだのが、この《森のうた》だった(このくだりは、同名の岩城の著書に詳しい)。共産主義イデオロギーを背景に書かれた作品だけに、その上演には賛否が分かれるが、岩城は「分かり易くて、巧く書いている。厳然として傑作だ」と、生涯にわたって愛し続けた。

25th
Anniversary
Special Concert



名エッセイストでもある
岩城宏之の傑作
藝大青春記「森のうた」

岩城から山田へ、音楽の継承

野村萬齋が拓く新たな世界

で冗談音楽も書いたが、当曲はその粹。「第45番」とは、これいかに？ 実は、交響曲の「1番〜9番」を全て足した数字だ。タイトル通り、9つの交響曲はもちろん、序曲やピアノ曲など、楽聖の手になる様々なフレーズが登場。そこに、関係のない旋律も次々に闇入して来る。抱腹絶倒の「迷作」をお楽しみあれ。

そして、今回、タクトを執る山田が、初めて指揮したプロのオーケストラはOEK。そのきっかけを与えたのが、他ならぬ岩城だった。巨匠からの「金沢で指揮して」との一言から本格的なキャリアをスタート、《岩城イズム》を受け継いだマエストロが、「75年前の岩城たちもかくや」という鮮烈なサウンドを聴かせる。そして、岩城の遺志を継ぐかのように、県立音楽堂を舞台に、東西を融合させた新たな芸術を追究し続ける野村萬齋。「森の緑が大地を救う」という作品の根源的なテーマに、どんな生命を授けてゆくのか、要注目だ。

また、これに先立ち、山本の《変曲》によるベートーヴェン「交響曲第45番」が披露される。大学時代から天才ぶりを発揮し、「いずれは国際舞台にも」と将来を嘱望された山本。しかし、あえて彼は日本国内に身を置き、大衆を対象に、テレビ・メディアなどを通じて、クラシック音楽の啓蒙に尽力した。その一環



和と洋を融合させた野村萬齋とOEKの舞台「真夏の夜の夢」

10/22(木) 開演 19:00
会場:コンサートホール

開館25周年記念スペシャルコンサート
シヨスタコーヴィチ「森のうた」

語り ほか:野村萬齋(石川県立音楽堂芸術監督)
指揮:山田和樹
テノール:宮里直樹
バス:加藤宏隆
合唱:東京混声合唱団、OEK合唱団、
「森のうた」児童合唱団(公募)
管弦楽:オーケストラ・アンサンブル金沢

ベートーヴェン/山本直純「変」曲:交響曲第45番「宿命」
シヨスタコーヴィチ:オラトリオ「森のうた」日本語版

【全席指定】S席 8,000円 完売
A席 6,000円 / B席 4,000円

Kazuki Yamada



今年7月に東京・カナダ大使館で行われた記者会見より



指揮・音楽監督を務める井田勝大



演出・振付を務める山本康介



アンを演じる小林美奈



全編の作曲を手掛ける葛西竜之介

世界中の人々に愛され、世代を超えて読み継がれているルーシー・モード・モンゴメリの傑作「赤毛のアン」。原作小説はもちろんのこと、アニメや実写ドラマ、舞台作品などを通して老若男女親しまれてきたカナダ文学の名作です。その世界観をバレエで表現したオリジナル作品が、2024年に鳥取県で誕生しました。そして、なんと今年は鳥取・高知・石川の共同制作で上演する運びとなりました。JK-BALLET TOKYO プリンシパル・ソリスト小林美奈氏らプロ・ダンサーと各県のバレエ教室へ通う子どもたちが共演し、石川は県内のバレエ7団体から約60人が出演します。

バレエは全三幕あり、幼いころに両親を亡くし、あちこちの家をたらい回しにされたアンがマシューとマリラに引き取られるところから始まります。原作を知っている人は、世界中の人々に愛され、世代を超えて読み継がれているルーシー・モード・モンゴメリの傑作「赤毛のアン」。原作小説はもちろんのこと、アニメや実写ドラマ、舞台作品などを通して老若男女親しまれてきたカナダ文学の名作です。その世界観をバレエで表現したオリジナル作品が、2024年に鳥取県で誕生しました。そして、なんと今年は鳥取・高知・石川の共同制作で上演する運びとなりました。JK-BALLET TOKYO プリンシパル・ソリスト小林美奈氏らプロ・ダンサーと各県のバレエ教室へ通う子どもたちが共演し、石川は県内のバレエ7団体から約60人が出演します。

12/20 開演 14:00
会場: コンサートホール

鳥取・高知・石川共同制作
バレエ「赤毛のアン」

振付・演出: 山本康介 作曲: 葛西竜之介
台本: 森川剛 指揮: 井田勝大
管弦楽: オーケストラ・アンサンブル金沢

Ariel Academy of Ballet
エコール・ドゥ・ハナヨバレエ
K BALLET STUDIO
Satake Nana Ballet School
永井与志枝バレエスタジオ
バレエクラス「ルルベ」
横倉明子バレエ教室

【全席指定】S席 8,000円 / A席 6,000円 / B席 4,000円

〈石川県立図書館でプレイベント開催!〉

11/8 開演 14:00 (予定)
会場: 石川県立図書館だんだん広場

朗読&バレエで愉しむ赤毛のアンの世界
～バレエ「赤毛のアン」を観る前に～

朗読: 大野侑美 (富山舞台)
バレエ: 巻里美 (ダイアナ・バリー役)、ほか ※申込不要、定員140名

2024年に初演された鳥取発のオリジナル・バレエ「赤毛のアン」が今年12月、改訂・新演出版として音楽堂にやってきます! どんな作品なのか、一つひとつ解説していきます。

世界中で愛される名作が、オリジナル・バレエに

音楽とダンスで描く、
アンの豊かな想像力

ばアンは明るく「おしゃべりな」女の子であることが頭に浮かぶはずですが、踊りですべてを表現するバレエでどうやって工夫をしたのでしょうか。

伴音楽を手掛ける作曲家の葛西竜之介氏が全編の作曲を担当。工夫した点を尋ねると「同じメロディーを奏でもオーケストラは何万通りの音色を出すことができます。アンのいろいろな面を表現するために多様な楽器を使って飽きさせない工夫をし、音色のパレットを常に変化させていくことを心掛けました」。

日本で作られた「赤毛のアン」のバレエ。今年7月行われた記者会見の場で、カナダ大使館一等書記官のジャン・フランソワ・ルノー氏に「このバレエをいつかカナダの皆さんにお見せしたい」と言わしめた舞台をぜひお楽しみに。

EVENT SPOTLIGHT





金沢百番街×石川県立音楽堂

Artist meets Kanazawa

思い出深い金沢で躍動した万華鏡のように輝くリスト

このくるみ、とても美味しいですね！ お醤油の味だからでしょうか。どんなお酒にも合いそうです。ビールやウイスキーにも良さそう。お酒は学生時代ならではのカクテルやサワーから入りましたが、日本酒が甘くておいしいと気づいて、年を重ねるごとに辛口が好きになってきて…今はできるだけ、水に近い日本酒が一番好きです。金沢での公演を終えたら上越、甲府、岐阜、大阪とツアーに出ますが、公演を重ねながらその土地のお酒やお料理にも触れたいですね。

金沢はいいかわミュージックアカデミー（IMA）で10回ほどは来います。少し空いた時間に一緒に受講している仲間と金沢駅付近を歩いたりして——金沢は青春の思い出がつまった場所です。IMAでは素晴らしい先輩方がこの音楽堂で演奏しているのを見て、私もいつか…と想っていたら去年ガランチュア音楽祭の出演が決まって。でもそのときは共演がオーケストラ・アンサンブル金沢（OEK）ではなくて、いつか一緒に出来たらと思っていたら今年実現しました。

OEKと今回リハーサルを一緒にして「私は自由に弾いていいんだ」と思ったので、いつもよりはかなりフリースタイルなリストになっている気がします。コンサートマスターのアビゲイル・ヤングさんとお話ししたら、「自由に弾いているのが伝わってくるし、それがとてもいい」って。「今後ちょっと演奏法を変えるかもしれない」と伝



※OEK第503回定期公演のリハーサルでお話を伺いました。

えたら「好きに弾いていいのよ」とおっしゃってくださいました。毎回歌い方もテンポも変えられるし、実際の演奏でもいきなり速くなるところであつても1拍目の次の拍にはもうテンポが合ってるんですよ。全部感じ取っていたらいい…何をしても大丈夫という安心感、頼もしさがありました。

5公演もオーケストラとツアーに出るのは初めてですが、演奏は変化していくと思います。どの公演でもリストの曲がこんなに素晴らしいのだと最大限に伝えられ

るように全力で演奏しますが、その中身がそれぞれ違う——万華鏡みたいにどんな角度から見ても輝くような感じでしょう。か、どんな公演が待っているのか、OEKの皆さんから仕掛けられたり、私から仕掛けたり…本当に4、5人でやるような室内楽をオーケストラでできている感覚です。今後また一緒にできるならリストやベートーヴェン、プロコフィエフも面白そうです。いろんな意味でこれからワクワクしています。

ピアニスト

黒木 雪音

北海道出身



文 K A D E N Z A 編集部

Yukine Kuroki
piano

黒木 雪音／2022年、ダブリン国際ピアノコンクールにおいて日本人として初めて優勝、リスト・ユトレヒト2022 第1位。2023年、ルービンシュタイン国際ピアノコンクール第3位。東京交響楽団、読売日本交響楽団、イスラエル・フィル、オランダ放送フィル、デンマーク国立フィルハーモニー管弦楽団、リトアニア国立交響楽団などと共演。ヨーロッパの国際音楽祭にも招かれるなど、国内外で活躍。2024年、2025年には2年連続でカーネギーホールにリサイタルで登場するなど、国内外で熱い注目を集める。昭和音楽大学卒業、同大学院修士課程修了、昭和音楽大学附属ピアノアカデミー修了。これまでに江口文子氏、大友聖子氏に師事。

黒木雪音さん
イチオシ！

大野醤油 クルミのおやつ

カリッと軽やかな食感とやさしい口どけ

伝統的な佃煮作りと同じ工程で、大粒のくるみを飴色の艶が出るまで職人が丁寧に釜炊きし、カリッと香ばしくサクッとやわらかく、仕上げています。

INFO クルミのおやつ 金沢百番街あんと店

石川県金沢市木ノ新保町1-1 金沢百番街あんと
TEL.076-208-3328 営 8:30～20:00 休 不定休





2027-2028 シーズン開幕! 2027-2028 Subscription Concerts

9月19日の記者会見で発表された来シーズンのラインナップ。
定期会員の皆様には速報版を送りました、
お手元に届いておりますでしょうか。10月下旬にパンフレット及び
11月からの継続会員のご案内をお送りいたします。
新規会員募集はシリーズ会員が12月6日、
セレクト会員が12月20日からお申込みを開始いたします。
今年も多くのお申込みをお待ちしております!



速報版はこちらから



MANSAI FANTASY BOX 野村萬斎 × OEKツアー

〈共通出演者〉
演出・出演:野村萬斎(石川県立音楽堂芸術監督)
指揮:海老原 光
出演:野村裕基、嘉数道彦 ほか
振付・出演:佐辺良和
万作の会、琉球舞踊

●音楽堂コンサートホール

石川県立音楽堂開館25周年記念

11/17(火) 開演 19:00

ソプラノ:石川公美 メゾ・ソプラノ:前澤歌穂
児童合唱:いしかわジュニアオペラアカデミー

〈会場〉音楽堂コンサートホール
〈問合せ〉石川県立音楽堂チケットボックス 076-232-8632
【全席指定】S席 8,500円 / A席 7,000円 / B席 5,000円

●刈谷公演

11/20(金) 開演 19:00

ソプラノ:釘宮冴月
メゾ・ソプラノ:守屋貴美子
合唱:アイリス少年少女合唱団

〈会場〉刈谷市総合文化センター
〈問合せ〉刈谷市総合文化センター 0566-21-7430
【全席指定】S席 7,000円 / A席 5,000円

●三島公演

11/22(日) 開演 15:00

ソプラノ:廣瀬真弓
ソプラノ2:岩下晶子
合唱:三島少年少女合唱隊

〈会場〉三島市民文化会館
〈問合せ〉三島市民文化会館 055-976-4455
【全席指定】S席 7,000円 / A席 6,000円

今聴きたいクラシックツアー

案内役:阿川佐和子
指揮:川瀬賢太郎(OEKパーマナント・コンダクター) ピアノ:石井琢磨
プログラムは当日までのお楽しみ!

●音楽堂コンサートホール

ファンタスティック・ オーケストラコンサート Vol.2

12/12(土) 開演 14:00

〈会場〉音楽堂コンサートホール
〈問合せ〉石川県立音楽堂チケットボックス
076-232-8632

【全席指定】SS席 7,000円 / S席 6,000円 / A席 4,500円
ピスタ席 2,500円 / 車椅子席 6,000円

●京都公演

12/13(日) 開演 14:00

〈会場〉京都コンサートホール
〈問合せ〉京都コンサートホール 075-711-3231

【全席指定】S席 7,000円 / A席 6,000円
B席 4,500円 / 車椅子席 4,500円

音楽堂以外の主なOEK公演

小松定期公演「秋」

11/10(火) 開演 19:00

指揮:横山 奏
ヴァイオリン:川久保 賜紀

メンデルスゾーン/「フィンガルの洞窟」序曲 Op.26
メンデルスゾーン/ヴァイオリン協奏曲
モーツァルト/交響曲第38番「プラハ」

〈会場〉石川県小松市團十郎芸術劇場うらら
〈問合せ〉石川県立音楽堂チケットボックス 076-232-8632
【全席自由】一般 3,500円 / 高校生以下 1,500円

第25回七尾定期公演

世界のMIDORI! 再び七尾へ!!
能登半島復興祈念

11/28(土) 開演 15:00

指揮:川瀬賢太郎(OEKパーマナント・コンダクター)
ヴァイオリン:五嶋みどり

◎五嶋みどり氏は、能登半島地震復興支援の趣旨から、
当公演は無償で出演致します。

ボロディン / 交響詩「中央アジアの草原にて」
チャイコフスキー / ヴァイオリン協奏曲
ビゼー / 劇付随音楽「アルルの女」第1・第2組曲

〈会場〉七尾市文化ホール
〈問合せ〉石川県立音楽堂チケットボックス 076-232-8632
【全席指定】一般 4,000円 / 高校生以下 2,000円

第20回記念

能美市ファミリーコンサート

12/6(日) 開演 14:00

指揮:岡本 陸 案内役:桂 空治
ソプラノ:熊田 祥子 バリトン:高橋 洋介
テノール:松岡 大海
合唱:能美市合同女声合唱団

川の流れるように、モーツァルトセレクション ほか
〈会場〉能美市根上総合文化会館
〈問合せ〉石川県立音楽堂チケットボックス 076-232-8632
【全席指定】S席 3,000円 / A席 2,000円 / B席 1,000円



石川県立音楽堂

<https://www.ongakudo.jp>



オーケストラ・アンサンブル金沢

<https://www.oek.jp>



〈チケットのお求め〉

石川県立音楽堂チケットボックス(石川県立音楽堂1F)

TEL 076-232-8632 (窓口) 9時~19時 (電話) 10時~18時

☑ WEBからも購入できます

(公財)石川県音楽文化振興事業団 石川県金沢市昭和町20-1 TEL 076-232-8111

アクセス: JR北陸線 金沢駅兼六園口(東口)徒歩1分 / 北鉄バス 金沢駅下車